

記入例

※所有権移転の場合

農地法第3条の規定による許可申請書

令和〇年〇月〇日

福島市農業委員会会長 様

<譲渡人>

住所 福島市仁井田字西下川原1-1

(ふりがな) (すなん じろう)

氏名 須南 次郎

電話番号 (024)〇〇〇-〇〇〇〇

<譲受人>

住所 福島市飯坂町字銀杏6-11

(ふりがな) (いゝか きぶろう)

氏名 飯坂 三郎

電話番号 (024)〇〇〇-〇〇〇〇

下記農地(採草放牧地)について { 所有権 賃借権 使用貸借権 } を { 移転 } したいので、農地法第3条
第1項に規定する許可を申請します。

1 申請者の氏名等(国籍等は、所有権を移転する場合に譲受人のみ記載してください。)

申請者	氏名	年齢	職業	住所	国籍等	残留資格 又は特別 永住者
譲渡人	須南 次郎	84	農業	福島市仁井田字西下川原1-1		
譲受人	飯坂 三郎	40	会社員兼農業	福島市飯坂町字銀杏6-11	日本	

2 許可を受けようとする土地の所在等(土地の登記事項証明書を添付してください。)

所在・地番	地目		面積 (㎡)	対価、賃料 等の額(円) 〔10a当たりの額〕	所有者の氏名 又は名称 〔現所有者が登記 簿と異なる場合〕	所有権以外の使用収益権が 設定されている場合	
	登記簿	現況				権利の種類、 内容	権利者の氏名 又は名称
福島市 桜本字〇〇1-1 桜本字〇〇〇1-1	田 畑	田 畑	1,000 500	300,000 150,000 〔 300,000 /10a 〕	須南 次郎 須南 次郎 〔 〕		

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

権利の設定、移転の時期			土地の引渡しの時期			期間
令和 年 月 日 (許可日)	令和 年 月 日 (同左)		令和 年 月 日 (同左)	令和 年 月 日	永年	
水田裏作の場合	始 期	終 期	概 要			
	令和 年 月 日	令和 年 月 日				

権利を設定し、又は移転をしようとする事由の詳細

該当する事項の番号に○印を付し、必要な場合には、具体的に記述してください。

【譲渡人の申請事由】

(1) 自作地有償所有権移転の場合

自作地相互の交換		1
参加農業生産法人への譲渡・出資		2
経営移譲年金受給のため		3
農 業 廃止	同一市町村に居住	4
	他市町村への転出	5
兼業による経営縮小		6
高齢化による経営縮小		7
病気等で労力不足		8
耕作不便・低生産地のため		9
資金を必要とするため	営農資金	10
	農業経営上の負債整理	11
	結婚・分家・相続等	12
	生活・住宅新改築等資金	13
その他 ()		14

(2) 自作地無償所有権移転の場合

経営移譲年金の受給のため	後継者へ	一括	21	
		部分	22	
	分家独立している子供へ		23	
	その他 ()		24	
そ の 他	同一世帯内での生前贈与	後継者へ	一括	25
			部分	26
		分家目的		27
		その他 ()		28
	分家独立している子供へ		29	
	その他 ()		30	

(3) 賃借権・使用貸借による権利設定の場合

経営移譲年金受給のため	31
農業廃止	32
兼業による経営縮小	33
高齢等による経営縮小	34
病気等で労力不足	35
耕作不便・低生産地のため	36
集約部門への転換のため	37
相手方の要望	38
その他 ()	39

(4) その他の場合

()	ア
-----	---

【譲受人の申請事由】

○ 共通

経営規模の拡大	イ
自作地相互の交換	ウ
その他 ()	エ

農地法第3条の規定による許可申請書(別添 I)

I 一般申請記載事項

<農地法第3条第2項第1号関係>

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

	農地面積 (㎡)	地目			採草放牧地面積 (㎡)
		田	畑	樹園地	
所有地 自作地	4,000	3,000	1,000		
貸付地					
	所在・地番	地目		面積(㎡)	状況・理由
		登記簿	現況		
非耕作地					

	農地面積 (㎡)	地目			採草放牧地面積 (㎡)
		田	畑	樹園地	
所有地以外の土地 借入地	1,000	1,000			
貸付地					
	所在・地番	地目		面積(㎡)	状況・理由
		登記簿	現況		
非耕作地					

(記載要領)

1 「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。

なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第6号の括弧書きに該当する土地です。

2 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。

1-2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑			樹園地		採草放牧地
	作付(予定)作物	水 稲	かぼちゃ				
権利取得後の面積(m ²)	1,000	500					

(2) 大農機具又は家畜

数量	種類	トラクター	耕うん機	田植機	コンバイン	SS (スピードスプレヤー)	
	確保しているもの	所有 リース	所・リ 1 台	所・リ 1 台	所・リ 1 台	所・リ 台	所・リ 1 台
導入予定のもの	所有 リース	所・リ 台	所・リ 台	所・リ 台	所・リ 台	所・リ 台	所・リ 台
	[資金繰りについて]	[自己・借入]	[自己・借入]	[自己・借入]	[自己・借入]	[自己・借入]	[自己・借入]

(記載要領)

- 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。
- 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)等資金繰りについても記載してください。

(3) 農作業に従事する者

- ① 権利を取得しようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況
農作業暦〇〇年、農業技術修学暦〇〇年、その他()

別記

② 世帯員等その他 常時雇用している 労働力(人)	現 在:	(農作業経験の状況:)
	増員予定:	(農作業経験の状況:)
③ 臨時雇用労働 力(年間延人 数)	現 在: 1	(農作業経験の状況: 農作業歴20年)
	増員予定: なし	(農作業経験の状況:)

- ④ ①~③の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離
又は時間

通作距離(片道)	通作時間(片道)	交 通 手 段
20 km	25 分	自動車・自転車・徒歩・公共交通機関 その他()

<農地法第3条第2項第2号関係> (権利を取得しようとする者が農地所有適格法人である場合のみ記載してください。)

2 その法人の構成員等の状況(別紙に記載し、添付してください。)

<農地法第3条第2項第3号関係>

3 信託契約の内容(信託の引受により権利が取得される場合のみ記載してください。)

<農地法第3条第2項第4号関係> (権利を取得しようとする者が個人である場合のみ記載してください。)

4 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況
(「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の
2親等内の親族をいいます。)

(1) その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業へ常時従事している者の氏名

(2) 年齢

(3) 主たる職業

(4) 権利取得者との関係

} 別記

(5) その者の農作業への従事状況(該当する期間(実績又は見込み)を「←→」で示してください。)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業の期間			←									→
その者が農作業に常時従事する期間						別記						

(「農作業の常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業(耕うん、播種、施肥、刈取り等)にいつでも従事できる状態にあることをいいます。)

<農地法第3条第2項第5号関係>

5 農地又は採草放牧地につき所有権以外の権原に基づいて耕作又は養畜の事業を行う者(賃借人等)が、その土地を貸し付け、又は質入れしようとする場合には、以下のうち該当するものに印を付してください。

賃借人等又はその世帯員等の死亡等によりその土地について耕作、採草又は家畜の放牧をすることができないため一時貸し付けようとする場合である。

賃借人等がその土地をその世帯員等に貸し付けようとする場合である。

農地保有合理化法人又は農地利用集積円滑化団体がその土地を農地売買等事業の実施により貸し付けようとする場合である。

その土地を水田裏作(田において稲を通常栽培する期間以外の期間稲以外の作物を栽培すること。)の目的に供するため貸し付けようとする場合である。

(表作の作付内容＝ _____、裏作の作付内容＝ _____)

農地所有適格法人の常時従事者たる構成員がその土地をその法人に貸し付けようとする場合である。

<農地法第3条第2項第6号関係>

6 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を以下に記載してください。

(例えば、集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。)

①農地の集団化への支障	(有・ 無)	②農作業の効率化への支障	(有・ 無)
③面的のうち利用の分断	(有・ 無)	④水利調整への不参加	(有・ 無)
⑤無農薬栽培等への支障	(有・ 無)	⑥共同防除等への支障	(有・ 無)
⑦実勢に比べ極端に高額な賃借料	(有・ 無)		
⑧その他	[]		

◎ 1-2 (3) ①②及び4 関連

権利取得者及び世帯員の状況

(ふりがな) 氏 名	生年月日 年 齢	性別	権利取得者 との続柄	職業	年間農作 業 従事日数	農作業経験 の状況	農作業への従事期間 (月) (該当を○)											
			世帯主・ 経営主の別				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(いゝざか さぶろう) 飯坂 三郎	S58.4.1 40 歳	男	本人 世帯主 経営主	会社員 兼農業	150 日	20 年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(いゝざか かずこ) 飯坂 和子	S60.5.2 38 歳	女	妻 世帯主 経営主	農業	150 日	20 年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(いゝざか いちろう) 飯坂 一郎	H20.6.3 15 歳	男	子	学生			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12